

経営比較分析表

岐阜県 神戸町

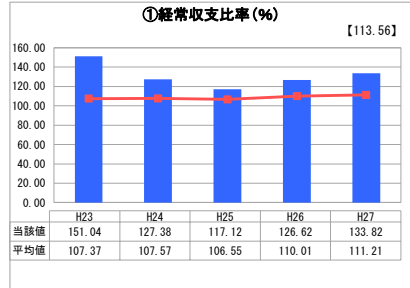
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	97.42	99.64	1,620

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,738	18.78	1,051.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,262	18.00	1,070.11

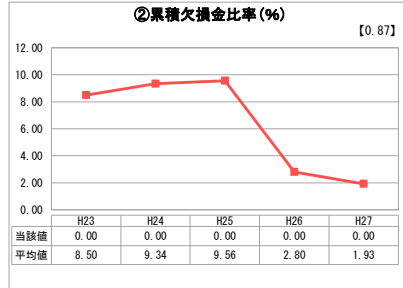
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

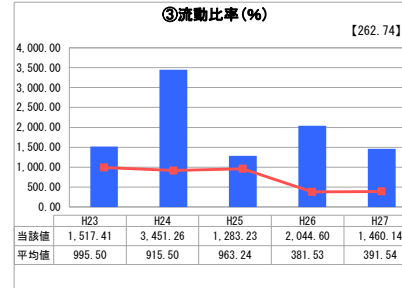
1. 経営の健全性・効率性



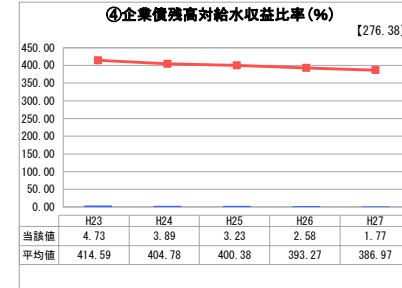
「経常損益」



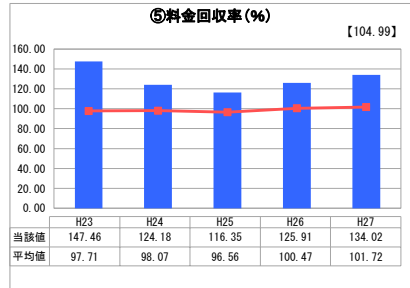
「累積欠損」



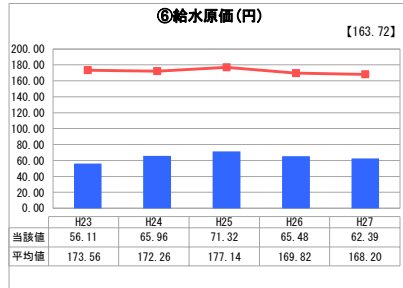
「支払能力」



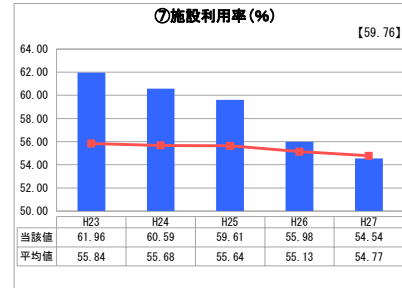
「債務残高」



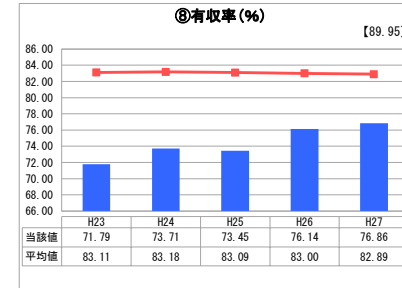
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

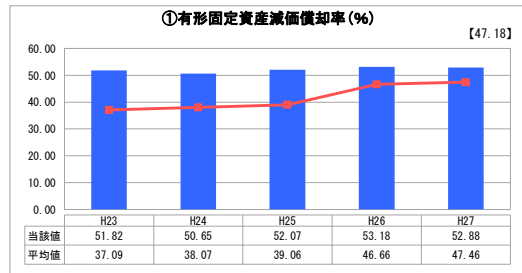


「施設の効率性」

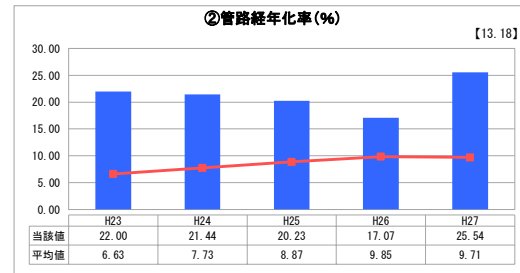


「供給した配水量の効率性」

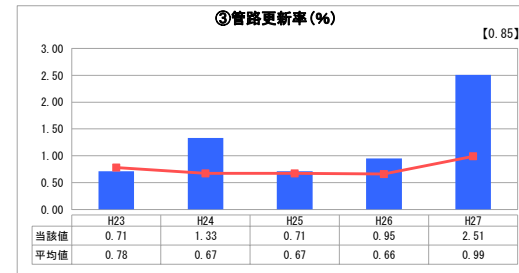
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支は黒字であり、料金回収率も100%を超えており、累積欠損金は発生していない。流動比率も高く維持されており支払い能力に問題は無い。したがって、安定した経営となっている。ただし、人口減少により給水収益が減少することが予想されるため、動向に注意が必要である。

また、給水原価は水道水源として良質な地下水が得られるため、類似団体と比較して非常に低く抑えられている。

企業債残高対給水収益比率は、企業債の償還が終わりに近づき企業債残高が少なくなったので低く維持されている。

一方、効率性を表す施設利用率は、人口減少等による給水量の減少により年々低下し、類似団体と比較して若干低い数値となっている。

また、有収率においては類似団体と比較して低い数値となっているが、近年は漏水調査や管路更新等を積極的に実施していることもあり改善傾向となっている。今後も引き続き有収率の改善に努めていく。

2. 老朽化の状況について

管路の老朽化の割合を表す有形固定資産減価償却率と管路経年化率は類似団体と比較してやや高くなっているが、近年は管路更新を積極的に進めており管路更新率においては類似団体平均値より高い数値となっている。

今後は、耐用年数を迎える管路が増加するため、老朽管の更新を引き続き積極的に行っていく。

全体総括

経常収支は黒字であり、累積欠損金も無く健全な経営を行っている。類似団体と比べて流動比率が高く支払い能力にも問題はない。

一方、類似団体と比較して管路経年化率がやや高く有収率は低いことから、管路の老朽化が進んでいる。また、施設利用率も類似団体と比較してやや低い。

今後は、将来需要の予測を踏まえ施設・設備の性能の合理化を検討するとともに、経営に与える影響を踏まえた上で老朽化対策や投資のあり方の検討をしていく必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。